


# 木の塗り壁Mokkun 上塗材

## 取扱説明書 (お施主様保管用)


※お施主様に必ずお渡しください。

このたびは「木の塗り壁Mokkun」をお買上げ頂き、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書には、製品のご使用に際して安全上の「ご注意」や「お願い」「お手入れ方法」を記載しております。ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。紛失された場合は施工業者又は弊社にご請求ください。
- 人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取扱について次のような警告表示をしています。誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次のレベルで説明しています。

表示方法	内 容
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取扱いを行うと、使用者などが障害(※1)を負うことが想定されるか、物的損害(※2)の発生が想定される危害・損害の程度を示す。

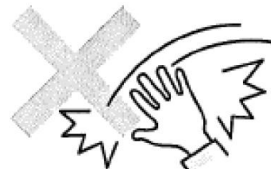
- (※1) 損害とは、治療や入院や長期の通院を要さない、ケガ、やけど、感電などをさす。
- (※2) 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどに関わる拡大損害をさす。

 **注意**

### 製品のご使用に際して安全上の注意

- 施工面に強く触れないようにしてください。

上塗材の種類や仕上げによっては、肌を傷つける恐れがあります。



## 製品のご使用に際してのお願い

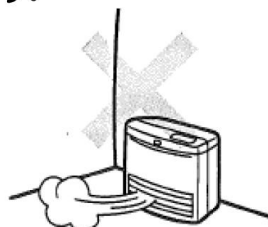
### 【自然素材に関するご注意】

- 日光、紫外線によって変色することがあります。
- 自然素材を使用しているため、ロットにより多少の色の違いや、色ムラが生じることがあります。
- 自然素材を使用しているため、入り隅など構造の変化にあるところや、下地のジョイント部分で多少の動きが生じてしまう箇所ではひび割れなどが発生する場合があります。
- コテムラによる色の見え方の違い・表面の状態の違いなどが生じることがあります。
- サンプルと実際の仕上がり色が異なる場合があります。

### 【ご使用上のお願い】

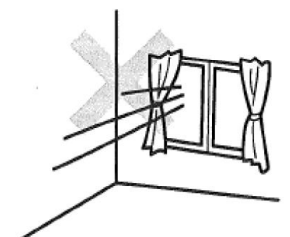
- 暖房器具などから発生する熱風、熱気が直接当たらないようにしてください。

表面のふくれ、ひび割れ、はがれ、変色の原因となります。



- 直射日光に長く当たりますと、熱や紫外線によって変色したり、表面にひび割れが発生するおそれがあります。

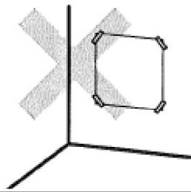
直射日光はカーテンやブラインドでさえぎるようにしてください。



# 製品のご使用に際してのお願い

- 粘着テープや両面テープでポスターなどを貼らないでください。

テープをはがす際に表面が傷ついたり、はがれが発生するおそれがあります。



- 水、油、殺虫剤などが付着しないようにしてください。

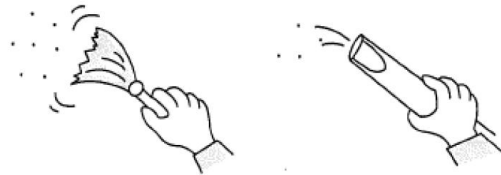
表面のふくれ、シミ、変色などが発生するおそれがあります。



## お手入れのしかた

### 【表面にほこりが付いた場合】

- ハタキや毛の柔らかなホウキを軽く当てて落としてください。
- 掃除機を軽く当てて吸い込んでください。



### 【ペンなどのインクが付いた場合】

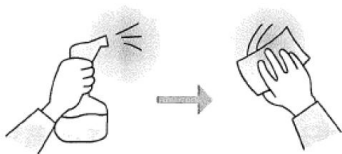
- サンドペーパー（＃60～120）で表面を軽く削ってください。

※削りすぎると、表面の状態が変化したり、下塗材が見える場合がありますので、削りすぎに注意してください。



### 【傷・凹み・欠けが発生した場合】

- ひっかき傷：霧吹きで表面を湿らせ、適度にしなりのあるカードなどを使って、周囲と馴染ませるように押さえてください。
- 凹み：霧吹きで表面を湿らせてください。
- 欠け：霧吹きで表面を湿らせ、適度にしなりのあるカードなどを使って、周囲の塗り壁材を動かし、欠けた部分を埋めるように押さえてください。



### 【手垢や鉛筆が付いた場合】

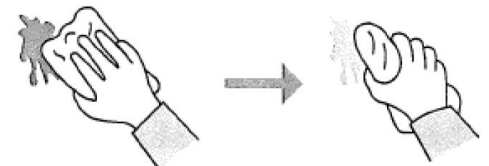
- 柔らかい消しゴムを使って、軽くこすって落としてください。



### 【液体のシミがついた場合】

- すぐに乾いた布で拭き取ってください。
- かたく絞った綺麗な布でその部分を軽く叩き、シミを吸い出してください。

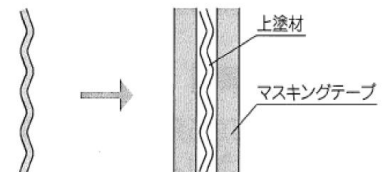
※粘度が小さく染み込みやすい液体や、油分のある液体などは、取り除くことができません。  
※中性洗剤や漂白剤を使用すると、表面の状態や色が変わる場合がありますので、使用しないでください。



### 【ひび割れが発生した場合】

※自然素材100%の塗壁ですので、ひび割れが発生する可能性があります。発生した場合は施工店にお問い合わせください。

- 補修箇所の周りにマスキングテープを貼り、やや多めの水で練った上塗材を補修箇所に塗りこんでください。その後、上塗材が乾く前にマスキングテープをはがし、塗りこんだ上塗材と壁面に色差がないように馴染ませてください。  
この部分は色の違いが出る可能性があります。



※大きな傷・へこみ・欠け・ひび割れは、補修すると逆に目立ってしまう可能性があります。部分的な補修ではなく、面単位での塗り直しを推奨します。

※汚れの除去や補修をする際は、必ず予め目立たない箇所で試し、変色など、問題のないことを確認してから行ってください。

※汚れがひどい場合や、長時間放置した場合したには、汚れが除去できない場合があります。汚れが付着した場合は、速やかに取り除いてください。